

発行日: 2023-11-29

バージョン 1

## 1: 化学品及び会社情報

製品名 Griess Reagent Nitrite Measurement Kit  
製品番号 13547  
キット構成要素 13549: 0.1 M Nitrite Standard  
13424: Reagent A: Sulfanilamide Solution  
13371: Reagent B: NED Solution

### 安全データシートの提供者の詳細

#### 製造業者

Cell Signaling Technology  
3 Trask Lane  
Danvers, MA 01923  
United States  
電話 +1 978 867 2300  
ファックス +1 978 867 2400  
メールアドレス

#### 販売業社

CSTジャパン株式会社  
東京都千代田区内神田1-6-10  
笠原ビルディング10階 〒101-0047  
電話: 03 (3295) 1630

regulationjp@cellsignal.com

### 化学薬品の推奨用途および使用制限

推奨用途及び使用上の制限 ライフサイエンス研究用試薬

## 2. 危険有害性の要約

### GHS - 分類

急性毒性(吸入) - 粉じん/ミスト	区分 4
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	区分 1
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 1
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分 2

### ラベル要素



### 注意喚起語

危険

### 危険有害性情報

H314 - 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷

H332 - 吸入すると有害

H371 - 臓器の障害のおそれ

### 安全対策

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を使用すること。屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。取扱後は顔、手、露出した皮膚をよく洗うこと。この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

**対応**

直ちに医師に連絡すること。

眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。

飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

皮膚(又は髪)に付着した場合: 汚染された衣類を直ちに全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪いときは医師に連絡すること。

**保管**

施錠して保管すること。

**廃棄**

内容物/容器を承認を受けている廃棄物処理施設に廃棄すること。

**他の危険有害性**

該当せず

**3. 組成及び成分情報**

キット 構成要素 13549: 0.1 M Nitrite Standard

適用法令により開示が必要とされる成分はない。

キット 構成要素 13424: Reagent A: Sulfanilamide Solution

化学物質名	重量%	化審法番号	ISHL番号	CAS番号
りん酸	3-7		(1)-422	7664-38-2

キット 構成要素 13371: Reagent B: NED Solution

適用法令により開示が必要とされる成分はない。

**4. 応急措置**

吸入した場合	新鮮な空気のある場所に移動する。直ちに医師の手当てを受ける必要がある。呼吸していない場合は人工呼吸を行うこと。呼吸困難な場合は酸素を供給すること。
皮膚に付着した場合	直ちに医師の手当てを受ける必要がある。汚染された衣服と靴を脱いで、直ちに石けんと多量の水で洗浄する。
眼に入った場合	まぶたの裏側まで多量の水で十分に洗うこと。洗っている間、目を大きく開くこと。
飲み込んだ場合	口を水ですすぐ。無理に吐かせないこと。多量の水を飲むこと。意識のない者には、何も口から与えてはならない。
予想される急性症状及び遅発性症状	重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷。腐食性のフューム/ガスを吸入すると、数時間にわたり咳、息詰まり、頭痛、めまいおよび脱力感を引き起こすおそれがある。肺水腫は胸苦しき、息切れ、皮膚の蒼白化、血圧低下、および心拍数の増加を伴って発生する可能性がある。
医師に対する特別な注意事項	症状に応じて治療すること

**5. 火災時の措置**

適切な消火剤	現地の状況および周囲環境に適した消火方法を用いること。
使ってはならない消火剤	高圧水で漏出物を散乱させてはならない。
化学物質または混合物から生じる特有の危険有害性	本製品は眼、皮膚、および粘膜の薬傷を引き起こす。熱分解すると刺激性のガスおよび蒸気を放出することがある。火災および/または爆発時には、ヒュームを吸い込まないこと。
危険有害性燃焼生成物	二酸化炭素、窒素酸化物(NO <sub>x</sub> )、塩化水素。

特有の消火方法	水噴霧でドラムを冷却すること
消火を行う者のための特別な保護具	消火を行う者は自給式呼吸器および消火活動用の装備を着用しなければならない。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	人員を安全な区域に避難させること。保護具を使用する。皮膚、眼、そして衣服との接触を避ける。人員を漏出/流出物から遠ざけ、風上に退避させること。
緊急措置	項目8で推奨されている個人用保護具を着用すること。
環境に対する注意事項	地下水を汚染してはならない。環境中に放出しないこと。安全に行えるなら、それ以上の漏出または漏洩を防ぐこと。製品が排水路に入らないようにすること。蒸気がたまると爆発性濃縮物が生成されるので要注意。蒸気は低いところにたまる可能性あり。地上水または下水施設に流さないこと。
封じ込め方法	安全に行えるなら、それ以上の漏出または漏洩を防ぐこと。
浄化方法	不活性吸収剤で吸収すること。機械的にすくい取り、適切な容器に収容して廃棄すること。汚染された表面を十分に浄化すること。防流堤を築いてせき止めること。製品が排水路に入らないようにすること。
二次災害の予防	環境規則に従って汚染された物体および区域を十分に浄化すること。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

安全取扱注意事項	保護具を着用する。皮膚、眼、そして衣服との接触を避ける。十分換気されているか確認すること。換気が不十分な場合、適切な呼吸保護具を着用する。密閉系の装置や機器を使用して取り扱う。そうでない場合は、適切な換気が確保されている場所でのみ取り扱う。この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
----------	---

### 保管

保管条件	容器を密封して換気のよい場所に保管すること。適切な表示のある容器に保管すること。
------	--

## 8. ばく露防止及び保護措置

技術的対策	シャワー 洗眼ステーション 換気システム
-------	----------------------------

### ばく露ガイドライン

化学物質名	日本産業衛生学会	ISHL作業環境評価基準 - 管理制御レベル	ACGIH TLV
りん酸 7664-38-2	OEL 1 mg/m <sup>3</sup>		STEL 3 mg/m <sup>3</sup> TWA : 1 mg/m <sup>3</sup>

生物学的職業性ばく露限界値	該当しない
環境ばく露防止	情報なし
個人用保護具	
手の保護	不浸透性手袋
眼/顔面の保護	密着性の高い安全ゴーグル 顔面シールド

皮膚および身体の保護 適切な保護衣を着用する。

## 9. 物理的及び化学的性質

### 基本的な物理的及び化学的的特性に関する情報

キット 構成要素	13549: 0.1 M Nitrite Standard
物理的状態	液体
外観	透明
pH	6.5
キット 構成要素	13424: Reagent A: Sulfanilamide Solution
物理的状態	液体
色	透明
pH	1.4
キット 構成要素	13371: Reagent B: NED Solution
物理的状態	液体
pH	2.5

## 10. 安定性及び反応性

反応性	情報なし
安定性	通常の条件下で安定
危険有害反応可能性	通常のプロセスではない
避けるべき条件	長期間にわたる空気または湿気への暴露
混蝕危険生成物	酸化剤と混蝕危険性、塩基、酸、ハロゲン、酸塩化物、酸無水物。
危険有害な分解生成物	提供された情報からは未知

## 11. 有害性情報

### 急性毒性

#### 成分情報

化学物質名	LD50 経口	LD50 皮膚	LC50 吸入
りん酸	= 1530 mg/kg (Rat)	= 2740 mg/kg (Rabbit)	> 850 mg/m <sup>3</sup> (Rat) 1 h

**症状** 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷。腐食性のフューム/ガスを吸入すると、数時間にわたり咳、息詰まり、頭痛、めまいおよび脱力感を引き起こすおそれがある。肺水腫は胸苦しさ、息切れ、皮膚の蒼白化、血圧低下、および心拍数の増加を伴って発生する場合がある。

#### 製品情報

経口	飲み込むと有害のおそれ
吸入	吸入すると有害のおそれ
皮膚腐蝕性/刺激性	重度の火傷を引き起こす
眼に対する重篤な損傷/刺激性	眼に対して腐食性であり、失明を含む重篤な損傷を生じることがある

皮膚腐食性及び皮膚刺激性	火傷を引き起こす
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	眼に重度の傷害を与えるリスクがある
呼吸器感作性または皮膚感作性	情報なし
生殖細胞変異原性	情報なし
発がん性	情報なし
生殖毒性	情報なし
特定標的臓器・全身毒性 (単回)	臓器の障害
特定標的臓器・全身毒性 (反復)	情報なし
吸引性呼吸器有害性	情報なし

## 12: 環境影響情報

生態毒性 この製品の環境に与える影響は完全に調査されている。

### 成分情報

化学物質名	藻類に対する毒性	魚類に対する毒性	ミジンコおよび他の水生無脊椎動物に対する毒性
りん酸	-	LC50 3 - 3.5 mg/L (Gambusia affinis) 96 h	EC50 4.6 mg/L (Daphnia magna) 12 h

残留性・分解性	情報なし
生物蓄積	情報なし
移動性	情報なし
その他の有害影響 情報なし	

## 13. 廃棄上の注意

残留物/未使用製品からの廃棄物	現地の規則に従って廃棄すること。環境法律に従って廃棄物を廃棄すること。
汚染された梱包	空容器を再利用しないこと。

## 14: 輸送上の注意

### IMDG/IMO

国連番号	UN1805
国連輸送名	Phosphoric acid, solution
輸送における危険有害性クラス	8
容器等級	III
EmS	F-A, S-B
ユーザーに対する特別な予防措置	223

### ADR/RID

国連番号 UN1805  
 国連輸送名 Phosphoric acid, solution  
 輸送における危険有害性クラス 8  
 容器等級 III

**IATA**

国連番号 UN1805  
 国連輸送名 Phosphoric acid, solution  
 輸送における危険有害性クラス 8  
 容器等級 III  
 特例規定 A3, A803

**日本**

国連番号 UN1805  
 国連輸送名 Phosphoric acid, solution  
 輸送における危険有害性クラス 8  
 容器等級 III  
 Special Provisions 223

**15: 適用法令**

**化学物質又は混合物に固有の安全、健康および環境に関する規則/法律**

**国際規則****労働安全衛生法**

化学物質名	区分	政令番号	含有率 %
りん酸 7664-38-2	安衛法表示対象物質	別表第9の618	3-7

**16: その他の情報**

発行日: 2023-11-29

改訂記録 SDSの余白にある記号(\*)は、その行が改訂されたことを示す。

**安全データシートで使用される略語および頭文字のキーまたは凡例**

凡例 項目8: ばく露防止及び保護措置

TWA: 時間加重平均値 Ceiling: 最大限值:  
 \* 皮膚兆候 + 感作物質

**本SDSの編集に使用した主要参考文献およびデータ源**

環境有害物質・特定疾病対策庁 (ATSDR)  
 米国環境保護庁ChemViewデータベース  
 欧州化学品局  
 欧州食品安全機関(EFSA)  
 EPA (環境保護庁)  
 急性暴露ガイドラインレベル(AEGL)  
 米国環境保護庁、連邦殺虫剤、殺菌剤、殺鼠剤法  
 米国環境保護庁高生産量化学物質  
 フードリサーチジャーナル (Food Research Journal)  
 危険有害性物質データベース  
 国際統一化学情報データベース(IUCLID)  
 日本GHS分類  
 オーストラリア国家工業化学品届出審査機構(NICNAS)  
 NIOSH(国立労働安全衛生研究所)

米国医学図書館ChemID Plus(NLM CIP)  
米国医学図書館のPubMedデータベース(NLM PubMed)  
米国国家毒性プログラム(NTP)  
ニュージーランド 化学物質分類・情報データベース(CCID)  
経済協力開発機構、環境・健康・安全に関する文書  
経済協力開発機構、高生産量化学物質点検プログラム  
経済協力開発機構、スクリーニング情報データセット  
RTECS (化学物質毒性データ総覧)  
世界保健機構

#### **免責事項**

このSDSは、JIS Z 7252:2019およびJIS Z 7253:2019(日本)の要件に準拠しています。この化学物質等安全データシートに記載されている情報は、その発行日の時点において、我々の知識、情報および信念のおよぶ限りにおいて正確なものです。ここに提示されている情報は、安全取扱、使用、加工処理、保管、運搬、廃棄、および放出の指針とすることのみを目的としたものであり、保証または品質仕様と考えるべきものではありません。この情報は、指定された特定の物質にのみ関連するものであり、本文中に明記されている場合を除き、他の何らかの物質と併用した場合、または何らかのプロセスに使用した場合には、有効でなくなる場合があります。

安全データシート 終